

おうちで本を開いていますか

わたしの家族



あなたのおうちは何人家族ですか？ 家族は一番身近なつながりを持つ集まりです。そして、とても強い絆で結ばれています。

家族について書かれた本、絵本がたくさん出版されています。あなたの知らない家庭の様子を「へえー、そうなんだ」「あっ、我が家にそっくり！」と、家族みんなで楽しみましょう。

題名/おこりんぼママ
作/ユッタ・パウアー
訳/小森香折
出版/小学館

今日ママにものすごくどなられて、ペンギンのぼくはバラバラになってしまった。そんなぼくを助けてくれたのは…



題名/ねえ とうさん
作/佐野洋子
出版/小学館

久しぶりに帰ってきた父さんとくまの子は、手つなぎ森へ散歩に出かけます。甘えるくまの子に、やさしく力強い父さんの姿はすてきです。



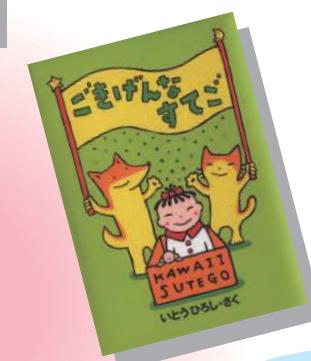
題名/
ぼくのかわいくないもうと
作/浜田桂子
出版/ボプラ社

ぼくの妹はでしゃばりでおしゃべり。とんでもない妹のせいで、いつもぼくは大変なんだ。
でもね…



題名/おばあちゃんのすてきなおくりもの
作/カララ・ステーブン
訳/掛川恭子
絵/イフ・ライス
出版/のら出版

ハタネズミのおばあちゃんはやさしくて、ぼくたちにいろんなお話をしてくれる。
「どうしてかな？ 相手の気持ちを考えてごらん」



題名/
おじいちゃんのおじいちゃんの
おじいちゃんのおじいちゃん
作/長谷川義史
出版/BL出版



「ねえ、おじいちゃんのおじいちゃんはどんな人？」
男の子の質問に、時どんざかのぼっていきます。

橋本市家庭教育支援チームでは、「家庭読書班」を編成してあり、「家譜」に関する講座を展開しています。



家族



ぼくの妹はでしゃばりでおしゃべり。とんでもない妹のせいで、いつもぼくは大変なんだ。
でもね…

題名/
おじいちゃんのおじいちゃんの
おじいちゃんのおじいちゃん
作/長谷川義史
出版/BL出版

ハタネズミのおばあちゃんはやさしくて、ぼくたちにいろんなお話をしてくれる。
「どうしてかな？ 相手の気持ちを考えてごらん」



橋本市家庭教育支援チームでは、「家庭読書班」を編成してあり、「家譜」に関する講座を展開しています。



紀見保育園のスクラップブッキング講座でみつけたイクメンパパです！

イクメンパパ、見つけた！



パパ・岡井 つとむ
たける
武琉くん（2才）



パパ・露久志 ひかる
ゆうか
有華ちゃん（1才）



読書が趣味という露久志さんは、読み聞かせはもちろん、積極的に育児に携わっています。

育児に携わって良かったと思うことは?という質問に、息子の武琉君が「パパ、好き」「ママ、イヤン~」なんて言った時は、「ヨッシャー！」って思うそうです。

反対に言葉の意味が理解できない時や、自分の伝えたいことが伝わらない時に、育児の難しさを感じてしまうとのことでした。

ママからひとこと

たまには仲間に入れてください(笑)



※げんきっこでは、「イクメンパパ」を紹介しています。自薦他薦を問いません。どしどしご応募ください。
教育委員会 家庭教育支援室「げんきっこ・イクメンパパ、見つけた！」係 (TEL 33-1111 内線 1381)

子育て

はっぴい
あと“ぱいす

支援チーム員「ちょっとちゃん」

朝、ピカピカの一年生も先輩たちも登校です。「いってらっしゃい」と声をかけ、頭をなでたり、手をふったりして送り出してください。

やがて子どもたちは(=O)の気もちや(-_-)の気もちをもって帰ってきます。その理由を聞いて、「あんたが悪い」と(^_^')になる時もあります。「なんでそうなるの」とため息が出る時もあるでしょう。原因が本人にある時も、まずは気もちを受けとめ、そして「次からどうしようか」を中心に、一緒に考えてみてはどうでしょう。いやな気もちも、支えてくれる大人がいることで安心し、元気になるはずです。

(=O)の気もちには、たとえささいなことであっても、うれしい(=O)と同じ気もちになりましょう。同じように喜んでくれる大人がいることは、大きな励みになります。

忙しい時に子どもの話を聞くのは大変です。でも、そんな時にこそ子どもの話を聞くことで、持って帰ってきた気もちを、ランドセルといっしょにおろしてあげができると思いますよ。

気もちがすっきりして、宿題がはかどるかも~★



たまには大人も
息抜きしてね ♥